



# レクチャー

# 「認知症×アート／音楽×ケア」

近年、障害者芸術に関する法整備が進むなど、アートが持つ包摂性に着目した活動への関心や需要が高まっています。その一方で、多くの実践現場では「社会包摂につながるアート活動」にどのように向き合うべきなのか、どのようにしたらより質の高い内容が実施できるのか、今なお模索しています。

そこで、東京文化会館では音楽やダンスなどのパフォーマンスアーツに焦点をあてながら「社会包摂につながるアート活動」を実践する上で、理解しておきたい事柄を整理するためのレクチャーやスキルアップ・トレーニングを実施いたします。

本レクチャーでは、東京都美術館と連携し、認知症と音楽療法に精通した第一人者を迎え、認知症について医学的な知見から整理します。また認知症やパーキンソン病など音楽的介入が効果的と言われている疾病に関する事例、音や音楽の認知に関わる失音楽症、音楽を介したケア的活動の事例から、音楽やアートがこれからの社会に果たしうる役割や可能性を考えます。

日時

(令和2年) 2020年2月24日(月・休) 10:30-12:00 [受付開始10:15]

会場

東京都美術館 アートスタディールーム [〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36]

定員・料金

先着60名様[1月23日申込開始] 聴講無料

対象

アート／音楽関係者、アーティスト、自治体・文化行政関係者、教育／社会福祉関係者、学生、研究者など

お申込み

Peatix申込ページ<<http://tbk224lecture.peatix.com>>より詳細をご確認のうえお申込みください。



## 講師：佐藤正之 Dr. Masayuki Satoh

認知症医療学／三重大学大学院医学系研究科准教授、三重大学附属病院認知症センター  
1963年、大阪生まれ。86年、相愛大学音楽学部器楽科卒業。音楽教諭を経て、2002年、三重大学大学院医学系研究科博士課程修了。博士(医学)。神経内科専門医、認知症専門医、内科認定医。専門は神経心理学、認知症医療学。失語をはじめとする高次脳機能障害の診断・リハビリに加え、音楽認知の脳内過程、音楽療法について研究している。現在の研究テーマは、音楽認知の脳内機構、認知症の非薬物療法など。

お問合せ ● 東京文化会館 事業係

☎ 03-3828-2111(代表)

t-bunka.jp

@tbunka\_official

主催：東京都／公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館・アーツカウンシル東京  
連携：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館  
助成：一般財団法人地域創造



文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会

※やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

芸術文化のあたらしい出会い

文化でつながる。未来とつながる。



Tokyo Tokyo  
FESTIVAL